



## 平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年10月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トレジャー・ファクトリー

コード番号 3093 URL <http://www.treasurefactory.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野坂 英吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 小林 英治

TEL 03-3880-8822

四半期報告書提出予定日 平成27年10月13日

配当支払開始予定日

平成27年11月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年2月期第2四半期の業績(平成27年3月1日～平成27年8月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	5,719	16.3	432	0.4	449	1.2	270	10.8
27年2月期第2四半期	4,919	16.3	430	55.8	444	54.3	243	53.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第2四半期	24.15	23.25
27年2月期第2四半期	21.96	21.53

当社は、平成26年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行い、平成27年6月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定した数値を記載しております。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	4,982		3,125			62.6
27年2月期	5,040		2,955			58.5

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 3,119百万円 27年2月期 2,950百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年2月期	—	0.00	—	18.00	18.00
28年2月期	—	5.50	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	5.50	11.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成27年6月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成28年2月期(予想)につきましては、当該株式分割を考慮した配当金の額を記載しております。

### 3. 平成28年2月期の業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,853	10.9	1,039	8.2	1,052	8.8	631	11.4	56.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成27年6月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。通期の1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割の影響を考慮して算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期2Q	11,192,800 株	27年2月期	11,192,800 株
② 期末自己株式数	28年2月期2Q	296 株	27年2月期	296 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期2Q	11,192,504 株	27年2月期2Q	11,109,190 株

当社は、平成26年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行い、平成27年6月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っており、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の実績は今後様々な要因によって異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては【添付資料】3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境に改善傾向が見られるなど、景気は緩やかな回復基調にあるものの、中国景気の減速感が強まるなど先行き不透明な状況となっております。

このような経営環境の中、当第2四半期累計期間においては、新規出店を4店、既存店の移転リニューアルを2店実施し、順調に店舗網の拡大と充実を図ることができました。店舗営業は、既存店の販売、買取ともに前年同期に対しプラスで推移し、一般的に好調に推移しました。一方で、既存店の移転(8月に2店、9月に1店)による費用が、当第2四半期に計画よりも多く発生したため、その分、営業利益、経常利益の押し下げ要因となり、利益の増益幅は計画よりも縮小しました。

当第2四半期累計期間の売上高は、全社では前年同期比16.3%増、既存店(平成26年2月期末までに出店した店舗、以下同じ)では前年同期比7.1%増となりました。商品カテゴリー別の売上高では、電化製品が前年同期比19.9%増、衣料が同15.1%増、服飾雑貨が同15.3%増となりました。当期商品仕入高は全社で前年同期比19.7%増となりました。一般顧客からの仕入である一般買取は全社で前年同期比24.3%増、既存店では前年同期比11.9%増となり、買取も好調に推移しました。

出店政策においては、総合リユース業態の「トレジャーファクトリー」(直営店)を千葉県千葉市に1店、東京都府中市に1店ずつ計2店出店しました。服飾専門リユース業態の「トレファクスタイル」は、直営店を千葉県市川市に1店出店しました。古着アウトレット業態の「ユーズレット」は、直営店を埼玉県川越市に1店出店しました。また、老朽化が進んでいた総合リユース業態の「トレジャーファクトリー所沢店」と手狭であった服飾専門リユース業態の「トレファクスタイル川越店」を8月に隣に移転リニューアルしました。平成27年8月末現在では、直営店が総合リユース業態「トレジャーファクトリー」52店、服飾専門リユース業態「トレファクスタイル」25店、ブランド古着専門業態「ブランドコレクト」2店、スポーツ・アウトドア業態「トレファクスポーツ」1店、古着アウトレット業態「ユーズレット」2店の計82店、FC店が「トレジャーファクトリー」4店となり、合計店舗数86店体制となりました。

利益面では、売上総利益額が全社で前年同期比14.2%増、既存店では前年同期比5.0%増となりました。全社の売上総利益率は、65.0%と前年同期に比べ1.2%低下し、既存店の売上総利益率は65.2%と前年同期に比べ1.2%低下しました。売上総利益率が低下した主な要因は、販売促進のための衣料品等の値引きが増加したことに加え、出張買取時の配送委託費用が増え、仕入副費が増加したことであり、全社の差引売上総利益率は前年同期比1.2%低下し、64.9%となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、販売費及び一般管理費比率は前年同期と変わらず、57.4%となりました。既存店の移転(8月に2店、9月に1店)にかかる移転先店舗の出店費用や旧店舗の追加的な原状回復費用などの一時的な費用が、当第2四半期において36,254千円発生し、この移転による影響で営業利益が計画より押し下げられました。この結果、営業利益率は前年同期に比べ1.2%低下し、7.6%となり、経常利益率は前年同期に比べ1.1%低下し、7.9%となりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高5,719,625千円(前年同期比16.3%増)、営業利益432,044千円(前年同期比0.4%増)、経常利益449,715千円(前年同期比1.2%増)、四半期純利益270,316千円(前年同期比10.8%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における資産合計は、商品が116,820千円増加、敷金及び保証金が79,306千円増加した一方で、現金及び預金が416,179千円減少したこと等により、前事業年度末と比較して57,047千円減少し、4,982,953千円となりました。

当第2四半期会計期間末における負債合計は、未払法人税等が82,780千円減少、流動負債その他が107,962千円減少したこと等により、前事業年度末と比較して226,632千円減少し、1,857,765千円となりました。

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、四半期純利益を270,316千円計上したこと等により、前事業年度末と比較して169,584千円増加し、3,125,188千円となりました。

#### (キャッシュ・フローの分析)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ416,179千円減少し、723,256千円となりました。

また当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは25,483千円の支出(前年同四半期は332,031千円の収入)となりました。これは主に税引前四半期純利益455,513千円、減価償却費117,154千円があった一方で、たな卸資産の増加額114,368千円、法人税等の支払額262,387千円があったこと、その他(未払消費税等の減少額など)の増減が大きかったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは235,764千円の支出(前年同四半期は214,340千円の支出)となりました。これは主に店舗新設に伴う有形固定資産の取得による支出132,484千円、敷金及び保証金の差入による支出79,630千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは154,931千円の支出(前年同四半期は154,167千円の支出)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出53,346千円、配当金の支払額100,593千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の業績予想につきましては、平成27年4月10日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(表示方法の変更)

前事業年度まで「営業外収益」の「その他」に含めておりました、引越事業の仲介手数料による収入につきましては、事業として本格化し金額的な重要性が高まったため、当事業年度期首より「売上高」に含めて表示しております。

この結果、前第2四半期累計期間の四半期損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に含めて表示していた1,559千円は、「売上高」として組替えております。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成27年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,152,841	736,662
売掛金	117,446	151,854
商品	1,499,409	1,616,229
その他	303,657	340,091
流動資産合計	3,073,354	2,844,836
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	657,693	679,142
土地	141,555	141,555
その他(純額)	185,878	255,447
有形固定資産合計	985,127	1,076,146
無形固定資産	37,871	31,849
投資その他の資産		
敷金及び保証金	788,723	868,029
その他	154,924	162,091
投資その他の資産合計	943,647	1,030,120
固定資産合計	1,966,646	2,138,116
資産合計	5,040,000	4,982,953
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	39,812	27,228
短期借入金	370,000	369,990
1年内返済予定の長期借入金	99,818	83,730
未払法人税等	277,779	194,998
賞与引当金	157,672	162,514
返品調整引当金	20,178	25,425
ポイント引当金	35,989	32,443
資産除去債務	-	13,402
その他	668,153	560,190
流動負債合計	1,669,403	1,469,922
固定負債		
長期借入金	164,756	127,498
資産除去債務	248,413	259,502
その他	1,823	841
固定負債合計	414,993	387,842
負債合計	2,084,397	1,857,765

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成27年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	369,743	369,743
資本剰余金	304,743	304,743
利益剰余金	2,275,946	2,445,530
自己株式	△109	△109
株主資本合計	2,950,323	3,119,908
新株予約権	5,280	5,280
純資産合計	2,955,603	3,125,188
負債純資産合計	5,040,000	4,982,953

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
売上高	4,919,834	5,719,625
売上原価	1,663,064	2,001,491
売上総利益	3,256,770	3,718,133
返品調整引当金戻入額	18,192	20,178
返品調整引当金繰入額	21,351	25,425
差引売上総利益	3,253,611	3,712,886
販売費及び一般管理費	2,823,079	3,280,841
営業利益	430,532	432,044
営業外収益		
受取利息	88	94
自販機収入	7,720	8,870
その他	8,342	10,328
営業外収益合計	16,151	19,293
営業外費用		
支払利息	1,906	1,506
その他	439	115
営業外費用合計	2,345	1,622
経常利益	444,338	449,715
特別利益		
受取補償金	-	7,326
特別利益合計	-	7,326
特別損失		
固定資産除却損	978	1,290
投資有価証券評価損	615	238
特別損失合計	1,593	1,529
税引前四半期純利益	442,745	455,513
法人税、住民税及び事業税	209,600	180,500
法人税等調整額	△10,788	4,696
法人税等合計	198,811	185,196
四半期純利益	243,933	270,316



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	442,745	455,513
減価償却費	81,778	117,154
のれん償却額	771	771
賞与引当金の増減額(△は減少)	24,991	4,842
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△3,599	△3,797
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△1,596	△3,546
返品調整引当金の増減額(△は減少)	3,158	5,246
受取利息及び受取配当金	△88	△94
支払利息	1,906	1,506
受取補償金	-	△7,326
固定資産除却損	978	1,290
投資有価証券評価損益(△は益)	615	238
賃貸資産の取得による支出	△2,562	△4,876
売上債権の増減額(△は増加)	△27,433	△34,407
たな卸資産の増減額(△は増加)	△106,929	△114,368
仕入債務の増減額(△は減少)	5,630	△12,584
未払金の増減額(△は減少)	△6,145	△57,081
その他	113,176	△117,432
小計	527,396	231,046
利息及び配当金の受取額	88	94
利息の支払額	△1,783	△1,564
補償金の受取額	-	7,326
法人税等の支払額	△193,669	△262,387
営業活動によるキャッシュ・フロー	332,031	△25,483
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△113,756	△132,484
無形固定資産の取得による支出	△682	△1,213
敷金及び保証金の差入による支出	△84,431	△79,630
敷金及び保証金の回収による収入	3,600	324
長期前払費用の取得による支出	△19,030	△22,761
その他	△40	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△214,340	△235,764
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△38,000	△10
長期借入金の返済による支出	△66,194	△53,346
株式の発行による収入	800	-
新株予約権の発行による収入	5,280	-
配当金の支払額	△55,633	△100,593
その他	△419	△981
財務活動によるキャッシュ・フロー	△154,167	△154,931
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△36,476	△416,179
現金及び現金同等物の期首残高	853,404	1,139,435
現金及び現金同等物の四半期末残高	816,928	723,256

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はリユース事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。